allcinema

赤い風車（1952）

MOULIN ROUGE

メディア 映画
ジャンル ドラマ　伝記
製作国 イギリス／アメリカ
色彩 Color
時間 120分
初公開日 1953/05/28
公開情報 ＢＣＦＣ＝ＮＣＣ
映倫 G

【解説】

“赤い風車”を看板に掲げたパリ名物のキャバレー、ムーラン・ルージュ。かつては品はないが活力に溢れた店で、毎晩現れる画家ロートレックは、時にはそこのナプキンやテーブルクロスにまで、踊り子や酔客の狂態を鮮やかにスケッチした。その冒頭のシークエンスが圧巻で、閉店となってすっかり片づけも終わってから、一人寂しく家路に着く不具者の彼の姿に慄然とし、蔑みの言葉を浴びせられながら、心なしか悲しげな表情を浮かべるファーラーの名演に唸る。彼は侯爵家の生まれだが、少年の頃（父と共に出かけたタカ狩りの美しい描写……）階段から落ち、足の発育が止まって、身長は１５０ｃｍ余り、胴から上は普通の“大人”である奇形だ。ゆえにひどいコンプレックスを抱え、絵筆と酒にその情熱を託す。相手になるのは娼館の女だけで、同情が愛に変わって惚れ込んだ街娼マリー（マルシャン好演）を、屈辱的仕打ちに遭っても忘れ切れない。その出身地のスラムに彼女を訪ねる、おどろおどろしくも幻想美に貫かれた情景が出色で、まさに画面から“死”の匂いが漂ってきそうだ。彼の絵はムーラン・ルージュの宣伝ポスターから火がついて人気を得、店の方も一流となるが、彼も主人もなぜか虚しい。彼はデザイナーのミリアムから好意以上の情をかけられるが、マリーとの一件がちらついて結婚に踏み切れない。そのうち、彼女は想いを綴った手紙を寄せ、他の男と結婚。彼は幾度なくその手紙に読み耽けりながら毎夜泥酔し、遂に下宿の階段から落ち昏睡状態となって実家に引き取られ、生前にルーブル入りは初めて－－との父の報を聞きながら、かつてのムーランの模様を幻視し、昇天する。ライフ誌専属カメラマン、Ｅ・エリフォンソの協力を得たＯ・モリスの撮影が大胆かつ壮麗。Ｇ・オーリックの音楽、主題歌も素晴らしい。ただ歌手役で登場するハリウッドーの結婚魔ガボールが雰囲気をぶち壊すのが玉にキズ。

【クレジット】

監督	ジョン・ヒューストン	John Huston	
製作	ジャック・クレイトン	Jack Clayton	
原作	ピエール・ラミュール	Pierre La Mure	
脚本	ジョン・ヒューストン	John Huston	
	アンソニー・ヴェイラー	Anthnoy Veiller	
撮影	オズワルド・モリス	Oswald Morris	
編集	ラルフ・ケンプレン	Ralph Kemplen	
音楽	ジョルジュ・オーリック	Georges Auric	
出演	ホセ・ファーラー	Jose Ferrer	ロートレック
	コレット・マルシャン	Colette Marchand	マリー
	シュザンヌ・フロン	Suzanne Flon	ミリアム
	ザ・ザ・ガボール	Zsa Zsa Gabor	ジェーン
	クリストファー・リー	Christopher Lee	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

ピーター・カッシング	Peter Cushing
ジル・ベネット	Jill Bennett
セオドア・バイケル	Theodore Bikel
メアリー・クレア	Mary Clare

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.